

# 飛翔

令和7年  
8月号



7月例会

1on1エバンジェリスト  
堀井耕策 様

関ヶ原製作所 様 工場見学

人が生きる組織へと  
変革するための  
1on1ミーティング

発行: (一社) 岐阜県経営者協会 青年経営者部会

7月例会では、1on1 エバンジェリストの堀井耕策氏を講師にお迎えし、1on1 ミーティングについてご講演いただきました。堀井氏はヤフー在籍時に、上司と部下が定期的に対話を行う 1on1 を全社的に導入し、社内の雰囲気や業績の改善に大きく貢献されたご経験をお持ちです。

講演では、面談との違いや実際のやり取りのデモンストレーションを交えながら、1on1 の基本的な考え方や効果的な進め方についてご紹介いただきました。1on1 は部下が主語となり、自ら考え行動する力を育む場であり、一方的な指示ではなく、質問を通じて内省を促すことが重要であるとされました。また、価値観や言葉の解釈の違いによるすれ違いを防ぐためには、丁寧な言語化と対話による共有が必要であり、1on1 は単なる業務管理の手段ではなく、信頼関係の構築と人材育成のための有効な仕組みであることが示されました。



講師の堀井耕策氏



恩田総務副委員長と 1on1 ミーティングのデモンストレーションを行う堀井氏



本例会は、参加者が2〜3人のグループでステップごとに話し合う形で行われました



堀井氏に感謝の品を手渡す伴会長



司会の平田副委員長



懇親会の司会を務めた林副委員長



会の様子を見守る小野委員長と中村副委員長



広報委員会委員 奥村 彰規

## 会のあとに

堀井様の講演は、デモンストレーションや小ミーティングを参加者が体験する手法で、最後まで興味深く聞くことができました。まさに我々の意識を育むような講演になり有意義な時間になったと思います。

すでに 1on1 ミーティングについて実践している会員や、これから導入を検討している会員にとっても明日からの実践につながる学びを得ることができる例会になったと思います。変化の激しい今、経営マネジメントも、従前よりも部下が自発的に動くようにしていく必要があるということでした。

そのため、経験させ、内省させ、教訓を得させ、試行させることを自発的にやっていくことを誘発するミーティングの場を、会社として整えてきた堀井様の話を聞くことができたのは基本方針の「人が活きる」組織の実現に向けて、大きなプラスになったのではないかと感じました。

## 会のもとで

## 関ヶ原製作所 工場見学レポート

広報委員長 林 孝拓



2025年7月2日、岐阜県関ヶ原町にある株式会社関ヶ原製作所の本社工場を訪問しました。矢橋社長には本年4月の定時総会でご講演いただいております。今回はそのご縁から、工場見学と質疑応答の機会を頂戴しました。

質疑応答では、熟練社員を高校に派遣して新卒採用へつなげる取り組みや、誰が誰を教えるかを明確にした技能継承の仕組み、部署異動や丁寧な対話を通じて働きやすい環境を整える工夫などの実践的な取り組みが紹介されました。特に「やりたい仕事に挑戦させ、合わなければ配置を変える」「現場で名前を呼んで話しかけやすくする」などの具体策からは、「人が活きる」組織づくりへの強い意志が伝わってきました。

続いて行われた工場見学では、清掃と整理が行き届いた整然とした環境の中で、社員の皆さんが黙々と作業に取り組む様子を見学しました。窓のない作業空間には大きな絵画が飾られ、視覚的な変化を取り入れることで、社員が飽きずに働ける工夫も感じられました。

見学後に訪れた併設カフェでは、地域住民も多く訪れ、企業と地域が自然に交わる場となっていることが感じられました。

人に焦点を当てた経営姿勢に触れ、「人が活きる」という今年度スローガンの本質を学ぶ機会となりました。

### 【青年経営者部会 今後の予定】

国内企業視察研修 日時：令和7年9月10日(水)

場所：トゥモローゲート株式会社 大阪本社 集合：15時30分

令和7年8月吉日発行 編集：(一社)岐阜県経営者協会 青年経営者部会 広報委員会  
編集責任者/林 孝拓 編集部/市橋 拓、河村 岳明、宮川 裕一